



北海道

知内町

「わが町自慢」と題したこのコーナーでは、皆様からの町自慢情報を募集しております。道内外を問わず広く紹介していきますので、どしどしご投稿ください。今回は、知内町役場水産商工課に勤務される帰山淳一さんに知内町の魅力をご紹介いただきます。

私の暮らす知内町は北海道の南

端、渡島半島の南西に位置しています。木古内町、福島町、上ノ国町と境界を接し、東側は津軽海峡を隔て青森県の下北半島を望むロケーションにあります。町の総面積の81%以上を森林地帯が占める、緑豊かな環境といえるでしょう。豊かな森は豊かな水を育み、町を代表する知内川のほかに多くの河川が津軽海峡に注いでいます。町の中央部を西から東へと貫通するこの知内川の河川流域、及び海岸地域には平野が開けており、肥

沃な大地が広がっています。

わが知内町を知っていただくために、ひと通り位置や地形の説明をしましたが、このような自然に恵まれた知内町の自慢のひとつは、海です。南北21kmにわたる海岸線は砂浜と岩礁部から成り、変化に富んだ美しい景観を見せる松前矢越道立自然公園の一部となっています。町内涌元から矢越岬間には、狐越岬やナマコ岬などの奇岩怪石が続き、荒々しくダイナミックな海岸美に浸ることが出来ます。海岸道路の南端にある小谷石漁港の周辺では、整備された海水浴場やキャンプ場で遊べるのも人気です。



恵み多い漁場をもたらしています。

前浜でのサケ、マコガレイなどの定置網漁や養殖漁業はとても盛んで、ウニ、カキ、ホタテなどとともに、知内の新鮮な海の味覚として道内外に出荷されています。また、温暖な気候や豊富な水は、ニラ、ホウレンソウ、トマトなどの山の幸も育ててくれます。これらのおいしい産物を味わいに、ぜひ知内町へ足を運んでください。



▲重内平野

景勝地として、アウトドアスポーツとしてだけでなく、海自慢すべきはこの海でとれるおいしい魚貝類にもあります。暖流と寒流が交差する津軽海峡は、知内沿岸に

立自然公園の一部となっています。町内涌元から矢越岬間には、狐越岬やナマコ岬などの奇岩怪石が続き、荒々しくダイナミックな海岸美に浸ることが出来ます。海岸道路の南端にある小谷石漁港の周辺では、整備された海水浴場やキャンプ場で遊べるのも人気です。



上：矢越海岸 下：こもれび温泉

シヨンの多機能設備を整えたこもれび温泉で、のんびり湯を楽しんでいただくのもいいでしょう。また、知内の四季を彩る祭りも数多くあり、毎年8月のお盆に開催する

北海道最古の神社といわれる雷公神社や郷土資料館を訪ね、町の歴史を学んでいただくのもよい、800年もの歳月を重ねる知内温泉やリラクゼーション



▲サマーカーニバルin知内にて

二大祭りのひとつ、サマーカーニバルin知内では、本町出身の国民的演歌歌手である北島三郎さんのコンサートや知内ねぶたが大盛況です。私たちと一緒に、町を挙げての祭りに参加するのはいかがでしょうか。「笑顔かがやく躍動の舞台」へ、どうぞいらしてください。

◆問合せ先◆

知内町役場水産商工課
 商工労働係・担当 帰山淳一
 ☎ 01392-5-6161
 ホームページアドレス
<http://www.hakodate.or.jp/shiriuichi/>